

特116

108

第四臨時教員養成所一覽

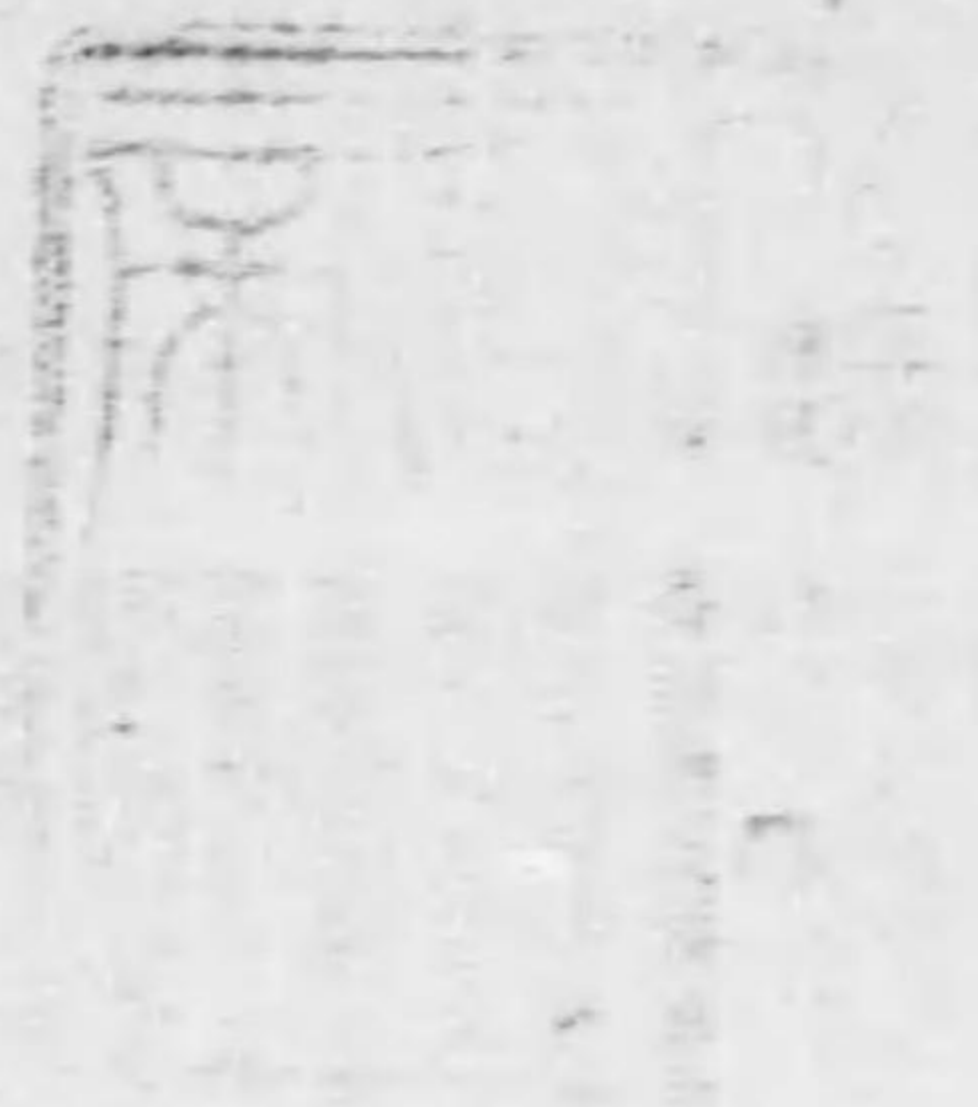
自大正十一年
至大正十二年



始



特116
108



第四臨時教員養成所一覽目次

| | | |
|----|----------------|----|
| 第一 | 學年曆 | 一頁 |
| 第二 | 沿革略 | 二頁 |
| 第三 | 關係法令 | 二頁 |
| 一 | 臨時教員養成所官制 | 三頁 |
| 二 | 臨時教員養成所規程 | 三頁 |
| 三 | 高等師範學校等卒業者服務規則 | 三頁 |
| 四 | 臨時教員養成所名稱及學科 | 六頁 |
| 四 | 規一則 | 七頁 |
| 第五 | 學資支給規程 | 八頁 |
| 第六 | 職員 | 三頁 |
| 第七 | 生徒 | 三頁 |
| 一 | 生徒氏名 | 四頁 |
| 二 | 學科別生徒數 | 四頁 |
| 三 | 地方別生徒數 | 五頁 |

大正
11.10.5
寄贈

同校 寄贈本

第四臨時教員養成所一覽

第一 學年曆 (自大正十一年五月 至大正十二年三月)

五月二十二日
 七月十日
 同 十一日
 同 三十日
 八月三十一日
 九月十日
 同 十一日
 秋 分 日
 十月十七日
 同 三十一日
 十一月二十三日
 十二月二十四日
 同 二十五日

學 年 曆

第一學期授業始ル
 第一學期授業終ル
 夏季休業始ル
 明治天皇祭
 天長節
 夏季休業終ル
 第二學期授業始ル
 休業(秋季皇靈祭)
 休業(神嘗祭)
 休業(天長節祝日)
 休業(新嘗祭)
 第二學期授業終ル
 冬季休業始ル

第四臨時教員養成所一覽



一月七日
同 八 日
二月十一日
春 分 日
三月三十一日

冬季休業終ル
第三學期授業始ル
休業(紀元節)
休業(春季皇靈祭)
第三學期終ル

第二 沿革略

明治三十五年三月二十七日勅令第百號ヲ以テ臨時教員養成所官制ヲ公布セラレタルニ依リ文部省ハ同月廿九日省令第八號ヲ以テ臨時教員養成所規程ヲ定メ大正十一年四月十日文部省令第十六號ヲ以テ之カ改正ヲナシ告示第三百四十四號ヲ以テ東京音樂學校内ニ第四臨時教員養成所ヲ設置ス東京音樂學校長村上直次郎管理者ニ任セラル

第三 關係法令

- 一、臨時教員養成所官制(明治三十五年三月二十七日勅令第百號)
- 第一條 臨時教員養成所ハ師範學校中學校及高等女學校ノ教員タルヘキ者ヲ養成スル所トス
- 第二條 臨時教員養成所ハ文部大臣ノ指定スル帝國大學及直轄學校内ニ之ヲ置ク
- 第三條 臨時教員養成所ハ當該帝國大學總長及直轄諸學校長ヲシテ之ヲ管理セシム
- 第四條 臨時教員養成所ニ教授及書記ヲ置ク

教授ハ委任トシ各所ヲ通シ專任六人ヲ以テ定員トス生徒ノ教授ヲ掌ル
書記ハ判任トシ各所ヲ通シ專任三人ヲ以テ定員トス上官ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス
臨時教員養成所管理者ハ講師ヲ囑託シ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得
第五條 臨時教員養成所ノ名稱ハ文部大臣之ヲ定ム

附 則

本令ハ明治三十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

- 二、臨時教員養成所規程(明治三十五年三月廿九日文部省令第八號) 改正(明治三十九年三號、四一年三三號、四三年二五號、四五年四號、八號、大正七年二號、一〇年二〇號、一一年一六號)
 - 第一條 臨時教員養成所ニハ國語漢文科、英語科、數學科、博物科、物理化學科、家事裁縫科、體操、家事科、理科家事科、歴史地理科、理科、音樂科、體操科ノ一學科若クハ數學科ヲ置ク
 - 第二條 前條各學科ノ修業年限ハ二箇年乃至三箇年トス
 - 第三條 國語漢文科ノ學科目ハ修身、教育、國語、漢文、言語學、歴史、地理、英語(隨意科目)、體操(隨意科目)トス
 - 第四條 英語科ノ學科目ハ修身、教育、英語、國語及漢文、言語學、體操(隨意科目)トス
 - 第五條 數學科ノ學科目ハ修身、教育、數學、物理、簿記、英語、體操(隨意科目)トス
 - 第六條 博物科ノ學科目ハ修身、教育、動物、植物、生理及衛生、礦物及地質、英語、體操(隨意科目)トス
 - 第七條 物理化學科ノ學科目ハ修身、教育、物理、化學、數學、圖畫及手工、英語、體操(隨意科目)トス
 - 第七條ノ二 家事裁縫科ノ學科目ハ修身、教育、家事、裁縫、國語、應用理科、手藝、圖畫、體操トス

- 第七條ノ三 體操家事科ノ學科目ハ修身、教育、家事、體操、理科、國語、音樂トス
- 第七條ノ四 理科家事科ノ學科目ハ修身、教育、理科、家事、數學、體操、英語(隨意科目)トス
- 第七條ノ五 歴史地理科ノ學科目ハ修身、教育、歴史、地理、法制及經濟、英語、體操(隨意科目)トス
- 第七條ノ六 理科ノ學科目ハ修身、教育、物理、化學、動物、植物、生理及衛生、礦物及地質、體操、英語(隨意科目)トス
- 第七條ノ七 音樂科ノ學科目ハ修身、教育、唱歌、器樂(オルガン又ハピアノ)、國語、音樂通論、和聲論、音樂史、英語(隨意科目)トス
- 第七條ノ八 體操科ノ學科目ハ修身、教育、體操、柔道又ハ劍道、生理及衛生、英語(隨意科目)トス
- 第八條 各學科ノ修業年限及學科目ノ每週教授時數ハ管理者之ヲ定メ文部大臣ノ許可ヲ受クヘシ
- 第九條 特別ノ事情アルトキハ管理者ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ學科目ヲ加除スルコトヲ得
- 第十條 學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル學年ヲ分チテ三學期トシ第一學期ハ四月一日ヨリ八月三十一日マテトシ第二學期ハ九月一日ヨリ十二月三十一日マテトシ第三學期ハ翌年一月一日ヨリ三月三十一日マテトス
- 休業ニ關スル規定ハ管理者之ヲ定ムヘシ
- 第十一條 入學試験ハ男子ニ在リテハ中學校卒業女子ニ在リテハ修業年限四箇年ノ高等女學校卒業ノ程度ニ依リ之ヲ行フ但中學校高等女學校及師範學校ノ卒業生ニ限リ時宜ニヨリ試験ヲ行ハサルコトヲ得
- 第十一條ノ二 管理者ニ於テ特別ノ必要アリト認メタルトキハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ當分ノ内家事裁縫科ニ限リ其ノ生徒ノ一部ノ教育ヲ教員無試験檢定ニ關シ文部大臣ノ許可ヲ受ケタル公立又ハ私立ノ學校ニ委託スルコトヲ得

- 前項委託ニ關スル細則ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ管理者之ヲ定ムヘシ
- 第十二條 各學年ノ課程ノ修了又ハ全學科ノ卒業ヲ認ムルニハ平素ノ學業及試験ノ成績ヲ考査シテ之ヲ定ムヘシ但シ管理者ノ見込ニ因リ某學科ノ試験ヲ行ハサルコトヲ得
- 第十三條 管理者ハ全學科ヲ卒業セリト認メタル者ニハ卒業證書ヲ授與スヘシ
- 第十四條 管理者ハ前項ノ卒業生ニ對シ教員免許狀ノ授與ヲ文部大臣ニ申請スヘシ
- 第十五條 管理者ハ成業ノ見込ナシト認メタル者及品行不良ナル者ニハ退學ヲ命スヘシ
- 第十五條 生徒ハ自己ノ便宜ニ因リ退學スルコトヲ得但シ己ムヲ得サル事由ニ因リ管理者ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニアラス
- 第十六條 管理者ハ教育上必要ト認メタルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得
- 第十七條 臨時教員養成所ニ於テハ授業料ヲ徵收セス
- 第十八條 臨時教員養成所ニ於テハ入學試験料ヲ徵收スルコトヲ得
- 第十九條 特別ノ必要アリト認メタルトキハ生徒ニ學資ヲ補給スルコトアルヘシ

附 則

- 大正十一年文部省令第十六號
- 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
- 三、高等師範學校卒業生服務規則(大正十年四月二十六日) (文部省令第二十九號)
- 第一條 本令ハ高等師範學校、女子高等師範學校、臨時教員養成所、東京美術學校圖書師範科及東京音樂學校甲種師範科卒業生ニ適用ス
- 第二條 卒業生ハ卒業證書受得ノ日ヨリ左ノ期間引續キ教育ニ關スル職務ニ從事スル義務ヲ有ス

關係法令

- 一、學資ノ支給ヲ受ケタル者ハ修業年限ノ一倍半ニ相當スル期間
 - 二、學資ノ支給ヲ受ケサル者ハ其ノ修業年限ノ二分ノ一ニ相當スル期間
- 前項ノ期間ハ二學科以上ヲ修メタル場合ニ於テハ通シテ八年ヲ超エス
- 第三條 卒業者ハ卒業證書受得ノ日ヨリ一年間文部大臣ノ指定ニ從ヒ就職スルノ義務ヲ有ス但シ前條ノ義務一年未滿ナル場合ハ其ノ期間トス
- 一、學科ヲ卒業シタル者ニシテ更ニ他ノ學科ヲ卒業シタルモノニ在リテハ後ノ卒業證書受得ノ日ヨリ一年間前項ノ義務ヲ有ス
- 第四條 卒業者ニシテ特別ノ事情ニ依リ第二條ノ義務ヲ履行スルコト能ハサルモノハ其ノ理由ヲ具シ道府縣ニ在職スル者ニ在リテハ地方長官其ノ他ノ者ニ在リテハ出身學校長ヲ經テ義務ノ猶豫又ハ免除ヲ文部大臣ニ出願スルコトヲ得
- 前項ニ依リ出願シタル者アリタルトキハ地方長官又ハ學校長ハ事實ヲ審査シ意見ヲ付シテ願書ヲ進達スヘシ
- 第二條ノ義務ヲ猶豫又ハ免除シタル場合ニ於テハ第三條ノ義務ハ之ト同時ニ猶豫又ハ免除セラレタルモノトス
- 第五條 卒業者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノアリタルトキハ第一條ニ掲ケタル學校ノ學校長ニ於テ文部大臣ノ指揮ヲ受ケ學資ノ支給ヲ受ケタル者ニ對シテハ授業費及在學中支給セラレタル學資ノ支給ヲ受ケサル者ニ對シテハ授業費ヲ償還セシム但シ情狀ニ依リ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ
- 一、第二條又ハ第三條ノ義務ヲ履行セサル者
 - 二、服務年限中懲戒免職又ハ免狀褫奪ノ處分ヲ受ケタル者

前項授業費ノ金額ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ學校長之ヲ定ムヘシ

第六條 卒業者ニシテ服務年限中研究科專攻科又ハ帝國大學學部等ニ入學セントスルモノアルトキハ時宜ニ依リ許可スルコトアルヘシ

第七條 卒業者ニシテ第四條ニ依リ其ノ義務ヲ猶豫セラレタルトキ又ハ前條ニ依リ研究科專攻科若ハ帝國大學學部等ニ入學シタルトキハ其ノ猶豫又ハ在學ノ期間ハ服務年數ニ算入セス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ノ卒業者ニシテ未タ服務義務ヲ了ラサルモノノ服務年數ニ關シテハ本令ノ規定ニ依ル

大正九年度以前ノ入學者ニシテ從前ノ規定ニ依リ服務義務ナキ者ノ服務ハ仍從前ノ例ニ依ル(以下略)

四、臨時教員養成所名稱及學科(文部省告示第 三四四十四號)

東京高等師範學校、廣島高等師範學校、奈良女子高等師範學校及東京音樂學校内ニ臨時教員養成所ヲ置キ大正十一年四月ヨリ開始ス各臨時教員養成所ノ名稱及其ノ學科左ノ如シ

| 名 稱 | 學 科 |
|--------------------|-------|
| 第四臨時教員養成所(東京音樂學校内) | 音 樂 科 |

第四 規 則

第一條 音樂科ノ學科目ハ修身、教育、唱歌、器樂(オルガン又ハピアノ)國語、音樂通論、和聲論、音

樂史、英語(隨意科目)トス
 第二條 修業年限ハ二箇年トス
 第三條 學科目ノ毎學年配當並ニ每週教授時數左ノ如シ

| 學 科 目 | 年 | |
|-------------|------|------|
| | 第一學年 | 第二學年 |
| 修身 | 一 | 一 |
| 教 育 | 二 | 三 |
| 唱 歌 | 八 | 八 |
| 器 樂 | 三 | 二 |
| 國 語 | 三 | 三 |
| 音 樂 通 論 | 二 | 一 |
| 和 聲 論 | 二 | 二 |
| 音 樂 史 | 一 | 二 |
| 英 語 (隨意科目) | (三) | (三) |
| 合 計 | (二四) | (二四) |

第四條 學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル
 第五條 學年ヲ分チテ三學期トス

第一學期 四月一日ヨリ八月三十一日マテ
 第二學期 九月一日ヨリ十二月三十一日マテ
 第三學期 一月一日ヨリ三月三十一日マテ

第六條 休業日ハ左ノ如シ
 春季休業 四月一日ヨリ同十五日マテ
 夏季休業 七月十一日ヨリ九月十日マテ
 冬季休業 十二月二十五日ヨリ翌年一月七日マテ

祝 日
 大祭 日
 日曜日

第七條 入學ノ期ハ學年ノ始メトス
 第八條 入學ヲ許可スヘキ者ハ左ノ資格ヲ有シ地方長官ノ薦舉ヲ受ケタル者ニ就キ無試験檢定ニ依リ之ヲ定ム但第三號ニ該當スル者ハ試験ノ上選拔ス
 一、品行方正身體健全ニシテ教員タルニ適當ナリト認ムル者
 二、師範學校中學校及修業年限四箇年以上ノ高等女學校卒業者
 三、專門學校入學者檢定規程ニ依ル試験檢定ニ合格シタル者又ハ專門學校入學者檢定規程第八條第一號ニ該當スル者並小學校本科正教員免許狀所有者、東京音樂學校乙種師範科卒業者及唱歌科小學校專科正教員免許狀所有者

規 則

- 四、女子ニ在リテハ夫ヲ有セサル者
- 第九條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ保證人連署ノ誓書ヲ差出スヘシ
- 第十條 保證人ハ二人トス内一人ハ父母後見人又ハ尊族親、一人ハ東京市内若ハ附近ニ住居シ年齡資産共ニ保證人ノ責ニ堪フル者タルヘシ但保證人タルヘキ父母、後見人又ハ尊族親東京市内若ハ附近ニ住居シ相當ノ資格ヲ有スルトキハ他ノ保證人ヲ要セス又父母後見人又ハ尊族親ナキトキハ相當ノ資格アル者ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得
- 第十一條 保證人ハ其保證スル生徒ヲ監督シ其生徒ニ關シ一切ノ責ニ任スルモノトス
- 第十二條 保證人死亡シ又ハ第十條ノ資格ヲ失ヒタルトキハ更ニ保證人ヲ定メテ誓書ヲ差出スヘシ
- 第十三條 試業ハ每學年末之ヲ行フ
- 第十四條 試業ノ成績ハ點數ヲ以テ之ヲ評定ス
- 唱歌ハ二百點ヲ滿點トシ百二十點以上ヲ合格トス其ノ他ノ學科目ハ各一百點ヲ滿點トシ六十點以上ヲ合格トス
- 第十五條 全學科ヲ卒業シタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス
- 第十六條 生徒疾病其他ノ事故ニ因リ缺課シタルトキハ其事由ヲ記シ保證人ヨリ三日以内ニ届出ツヘシ但疾病七日以上ニ及フトキハ診斷書ヲ添付スヘシ
- 第十七條 生徒ハ自己ノ便宜ニ依リ退學スルコトヲ得ス但已ムヲ得サル事由ニ依リ管理者ノ許可ヲ受ケタルトキハ此限ニアラス
- 第十八條 生徒左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ退學ヲ命ス
 - 一、疾病ニ罹リ修學ニ堪ヘサル者
 - 二、學業進マズシテ成業ノ見込ナキ者

- 三、本所教育ノ趣旨ニ適セサル者
- 四、品行修マラサル者
- 第十九條 生徒學費ノ支辨困難ナル者ニハ別ニ定ムル所ニ依リ學資ヲ支給ス
- 第二十條 生徒左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ在學中ノ授業費及支給シタル學資ヲ償還セシム但文部大臣ヨリ之ヲ免除セラレタル者ハ此限ニアラス
 - 一、第十八條第三號又ハ第四號ニ依リ退學ヲ命セラレタル者
 - 二、已ムヲ得サル事由ニ因リ退學ノ許可ヲ得タル者

參 錢
印 紙

誓 書

私儀今般貴所ニ入學許可相成候ニ付テハ御規則堅ク相守リ卒業ノ上ハ高等師範學校等卒業者服務規則ヲ遵奉可致此段誓約候也

本籍 何某男女兄弟姉妹又ハ戶主
現住所 本人 何
何年何月何日生

前書何某保證ノ責任ハ拙者共(又ハ拙者)ニ於テ引受ケ本人ヲシテ前記ノ誓ヲ嚴守セシメ可申候也

規 則

現住所
何某父母後見人又ハ親族關係

職業
保證人 何

何年何月何日生

本籍
現住所
職業

保證人 何

何年何月何日生

第四臨時教員養成所管理者 何

某殿

前書何某ハ本市(區町村)ニ住居ノ者ニ相違無之候也

何(道縣)何郡(市區町村)長

何

某 ㊦

前書何某ハ本區町村ニ住居シ公民權ヲ有スル者ニ相違無之候也

東京市(府)何區(何郡何村)長

何

某 ㊦

第五 學資支給規程

第一條 學資ハ生徒ノ志望ニ基ツキ學業成績及家庭ノ事情ヲ考查シテ適當ト認メタル者ニ之ヲ支給ス
第二條 學資ハ年額金三百圓トシ月割ヲ以テ支給ス但一ヶ月ニ滿タサルトキハ日割ヲ以テ支給ス退學

第三條 ノ月ハ全部支給セス
左ノ各項ノ一ニ該當スル場合ニハ學資ノ支給ヲ停止ス
一、缺席三十日ヲ超エタル時ハ其翌日ヨリ缺席繼續中
一、停學中

第六 職員

管 理 者
講 師

東京音樂學校長 村上直次郎 大分士族

東京音樂學校教授 橘 糸 重 三重士族

同 乙 骨 三 郎 東京士族

同 木 内 喜 右 衛 門 千葉平民

東京音樂學校助教授 岡 野 貞 一 鳥取士族

同 中 田 章 東京士族

同 貫 名 美 名 彦 東京平民

同 塚 田 芳 太 郎 千葉平民

同 澤 崎 定 之 和歌山平民

同 多 賀 谷 チ カ 神奈川平民

同 杉 生 信 雄 岡山平民

ピアノ
音樂史、英語
修身、教育
唱 歌
オルガン、音樂通論、和聲論
ピアノ
國 語
唱 歌
ピアノ
オルガン

職 員

教務主任
會計主任
教務掛
會計掛
同
同
同

事務囑託

東京音樂學校教授
東京音樂學校書記
同
同
同

乙骨三郎 東京士族
都竹清市郎 岡山平民
屋代七吉 埼玉平民
吉田資榮 東京士族
大橋樂二 兵庫平民
下川惇 福岡平民
鈴木保羅 山梨平民

十四

第七生徒

一、生徒氏名 一〇八順

| | | | | | | | |
|-------|----|-------|-----|--------|----|-------|-----|
| 伊藤 さみ | 愛知 | 市來 フメ | 鹿児島 | 入倉 うめ | 山梨 | 池田ミドリ | 島根 |
| 林 照子 | 岡山 | 細矢 タマ | 北海道 | 徳富 智恵 | 山口 | 富安 とみ | 群馬 |
| 岡田 守治 | 長野 | 大塚 久見 | 福岡 | 大村 愛子 | 東京 | 大屋美津子 | 神奈川 |
| 田中 兎代 | 千葉 | 常松 喜代 | 福島 | 宇田川 雅子 | 埼玉 | 松浦 喜作 | 兵庫 |
| 五島 節子 | 岡山 | 熱海 勝子 | 宮城 | 安中 淑 | 福島 | 淺津 秀豊 | 高知 |
| 秋元 愛子 | 静岡 | 佐藤ヒナコ | 山形 | 東かおる | 石川 | 毛利千代子 | 山口 |
| 千本 延隆 | 千葉 | | | | | | |

二、學科別生徒數

| | | | | |
|----|---|------|------|-----|
| 女 | 男 | 第一學年 | 第二學年 | 計 |
| 二〇 | 五 | 一 | 一 | 二〇五 |

三、地方別生徒數

| | | | | | |
|------|---|-----|---|-----|----|
| 北海道 | 一 | 静岡県 | 一 | 岡山 | 二 |
| 東京都 | 一 | 山梨 | 一 | 山口 | 二 |
| 神奈川県 | 一 | 長野 | 一 | 高知 | 一 |
| 兵庫県 | 一 | 宮城 | 一 | 福岡 | 一 |
| 埼玉県 | 一 | 福島 | 二 | 鹿兒島 | 一 |
| 群馬 | 一 | 山形 | 一 | 合計 | 二五 |
| 千葉 | 二 | 石川 | 一 | | |
| 愛知 | 一 | 根 | 一 | | |

生徒

十五

大正十一年九月九日印刷

大正十一年九月十二日發行

東京音樂學校內

第四臨時教員養成所

東京市神田區美土代町二丁目一番地

印刷者 島 連太郎

東京市神田區美土代町二丁目一番地

印刷所 三 秀 舍

157
157

157
157

終

(東京市神田區美土代町三丁目一番地 三芳堂發行)